

今回は

硬式野球部

取材しました!



送球練習

夕焼けの色が空全体を染めた十月二十一日。私は硬式野球部が活動するグラウンドへ向かいました。靴を履き替え、昇降口を出ると、その空のさきから、野球初心者の私にとって、野球部の練習を象徴するようなバットと硬球の当たる音が聞こえてきました。

選手一人ひとりが作るチーム

グラウンドに入ると、ここでは選手がいくつかのまとまりに分かれて練習していた。その内容は、キャッチボールや送球、バッティングやピッチングなど様々である。



会長 野澤航平
安全対策のためヘルメットをかぶり取材しました!



キャッチボール

キャッチボールをしている先輩後輩の二人は、一球一球言葉を交わしていた。耳を澄ますと、お互いにアドバイスをしあっているのがわかった。グラウンドの奥に目を移すと、ここでは守備の練習をしていた。練習には、ボールを取る選手本人だけではなく、ボールを投げあげる選手。また顧問の原先生もいらしていた。チームはみんなで作る。そこに先輩も後輩も先生も関係ない。そんなあたりまえのようなことが取材をしていた私の心には響いた。



守備練習

選手インタビュー

―普段はどのような練習をしているんですか?

まずは最初に、ノックという守備練習をしています。この練習では、ランナーがどこにいるかを想定して行っています。その後は、ピッチングやバッティングなどそれぞれの課題になっていることを練習していきます。

―課題はどのように見つけていくんですか?

選手同士で教えあっているんです。はじめにやる守備練習のときとか、気付いたらお互いにアドバイスするんです。選手同士でもプレーを見てると結構わかるんですよ。

―ミーティングもよくやってますよね?

練習試合の後にやるんです。そこで出た課題とかを顧問の原先生がプリントにまとめてくれます。シーズンが終わってしまうので、トレーニングのメニューとかもそこで考えていきます。



ピッチング練習

仲間同士で切磋琢磨! 理想の野球へまっしぐら



バッティング練習

―どんなプレーを目標にして練習されているんですか?

チームプレーなので、お互いの強みを生かしていくのはもちろんなんですけど、理想とするプレーって一つなんです。野球だとよく走攻守の三拍子って言われるんですが、それに向かって、選手はみんな練習を重ねています。

―マネージャーさんは普段どんなことをしているんですか?

練習の時には裏方で選手のバックアップをしてくれます。今年は2年生1人だけなのですが、チームにとって欠かせない仲間です。

―野球部の強みは何だと思いますか?

部員の仲の良さだと思えます。それがあってお互いに刺激しあえます。ただ気を遣いあっているわけじゃないんです。意見が分かれても、お互いの意見を取り入れてっていうことができるから、今とてもいい雰囲気です。活動できると思います。これから頑張ってください。ご協力ありがとうございました。



選手の練習を録画するマネージャー